

日本ユニセフ協会

1955年6月9日に設立された財団法人日本ユニセフ協会は、先進国においてユニセフを代表する世界36か国にある国内委員会の一つです。設立以来、学校での国際理解と募金活動、ユニセフグリーティングカードの取扱い、1970年より個人、団体、企業への募金活動を進めてきました。1990年代に、「子どもの権利条約」に定める「子どもの基本的人権」の実現を目的とするアドボカシー活動(政策提言活動)に取り組むようになり、募金活動においては新たな方法を積極的に導入、ユニセフ募金は1990年度より毎年増加し、4倍以上にまで伸びています。

ユニセフへの拠出額 2年連続トップに

日本ユニセフ協会は、ユニセフの国内委員会として、国内における民間募金のすべてを任されています。1990年以降、皆様からご理解と多くのご支援をいただきました結果、当協会からユニセフへの拠出額は、世界37カ国のユニセフ国内委員会の中で、1999年度より第一位となりました。皆様のご協力に心よりお礼申し上げますと同時に、今後も、少しでも多く拠出できるよう、努力してまいります。

年度	円決算拠出額	ドル建推計額	決算レート
1991年	2,655,729,000 円	20,428,600ドル	130 円 / ドル
1992年	2,654,335,508 円	23,699,400ドル	112 円 / ドル
1993年	3,131,358,164 円	30,401,500ドル	103 円 / ドル
1994年	3,603,854,841 円	40,042,800ドル	90円 / ドル
1995年	4,514,159,422 円	44,256,465ドル	102 円 / ドル
1996年	5,000,599,856 円	43,483,477ドル	115 円 / ドル
1997年	5,754,949,000 円	43,542,021ドル	132 円 / ドル
1998年	6,350,000,000 円	51,626,000ドル	123 円 / ドル
1999年	7,442,000,000 円	68,275,229ドル	109 円 / ドル
2000年	8,922,000,000 円	77,893,465ドル	115 円 / ドル

新ユニセフハウスと新規事業

日本ユニセフ協会の設立当時からの夢であった新ユニセフハウスが2001年6月21日に無事竣工式を迎えました。

地下1階、地上5階建の新ユニセフハウスには、ユニセフの基本的な情報を提供するミニシアター、130名を収容できる大会議場、7台のコンピューターを備えた学習スペース、乳幼児期、水と衛生、女性支援と幼児ケア、学齢期、子どもの保護、思春期といったテーマ別の常設展示コーナーなど、子どもたちが世界の現状を参加型で学べる設備スペースがたくさん用意されています。

また、新ユニセフハウスのオープンに合わせ、日本ユニセフ協会は子ども支援国際協力NGOとの連携強化、国際協力を担う若手人材の養成を主要な目的とする「国際協力人材養成プログラム」をスタートさせました。このプログラムは、ユニセフ国際協力講座、インターンの受入、子ども支援の日本のNGOスタッフの国内海外研修、海外インターンのユニセフ現地事務所派遣などを柱とし、子どものために世界で活躍できる若手人材の養成を目指すものです。



写真©日本ユニセフ協会



訪問 申し込みについて

グループでの訪問や詳しい説明をご希望の場合は、事前にお申し込みください。

訪問受付時間：月～金曜日（祝祭日を除く）

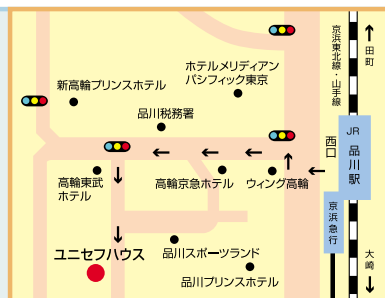
10:00～17:00（12:00～13:00を除く）

申し込み締切：訪問日の少なくとも2週間前までにお申し込みください。

受け入れ人数：最大130名

申し込み方法：まずはお電話でお問い合わせください。

学校関係は学校事業部 03-5789-2014・団体関係は協力事業部 03-5789-2012



「第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議」の開催

日本ユニセフ協会が1996年以来取り組んできた「犯罪です、子ども買春」キャンペーンの大きな成果のひとつでもある『第2回子どもの商業的性的搾取に反対する世界会議』が、12月17日～20日に横浜で開催されました。日本ユニセフ協会は、これに先立つ12月13日より川崎市内で、第2回世界会議に関する『子ども&若者プログラム』を実施しました。

『子ども&若者プログラム』では、海外から集まった93名の子ども&若者代表が合宿生活をしながら、1週間かけて世界に向けたアピールを作成しました。子どもたちの活躍はこの8日間だけに限らず、本番までの何カ月もの間、日本の子どもたちも独自に勉強会を開き、情報交換し、準備を重ねました。第2回世界会議の最終日に発表された子ども・若者代表の最終アピールは、全会の賛同の拍手で受け入れられました。

日本ユニセフ協会は、今後もこうした「子ども参加」を取り入れた活動を展開していきます。



写真©日本ユニセフ協会 / Nozawa



「ユニセフ子どもネット」
ネットワーカー
募集!!

「ユニセフ子どもネット」は、世界の子どものことをもっともっと知り、自分たちには何ができるのかを考え、考えたことを実現するための新しい子どものネットワークです。

18歳になる前の子どもなら誰でも参加できます。ネットワーカーになった子どもたちは、それぞれの年齢や興味、得意分野などに応じて、ユニセフの世界的なプロジェクトへの参加、取材、学習会やイベントの企画・実施、広報活動などを通して、その思いを実践していきます。

参加資格

18歳未満の子どもなら、どなたでも参加できます

登録費

資料・情報通信費として年間ひとり1000円

登録方法

下記事項を書いて郵便、ファックスまたは電子メールで「ユニセフ子どもネット」事務局までお送りください

郵便番号、住所、氏名(フリガナ)、年齢、生年月日、性別、
学校名、学年、電話・ファックス番号、e-mail アドレス

お申し込み先

(財)日本ユニセフ協会広報室内
「ユニセフ子どもネット」事務局

TEL: 03-5789-2016

FAX: 03-5789-2036

e-mail: jcuinfo@unicef.or.jp

ご応募いただいた方には登録費の振込み用紙をお送りします。入金確認と同時にネットワーカーとして登録されます。ネットワーカーの方には、ネットワーカーカードをお送りし、その後定期的にニュースレターなどをお届けします。

ユニセフ資料案内

資料代、送料は利用者負担となります。

世界子供白書



ユニセフが毎年発行している世界の子どもの状況についての年次報告書。
2002年版：子どもたちのためのリーダーシップ、
2001年版：乳幼児ケア、
1999年版：児童労働、
1997年版：栄養、
1996年版：紛争下の子どもとユニセフ50年の歩みについて、それぞれ特集しています。
(1冊まで送料を含め無料)

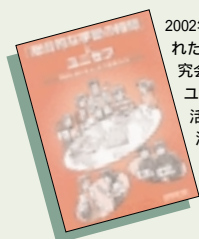
ユニセフ年次報告

世界各地でのユニセフの活動についての報告書。各地での予算配分や各国政府、民間の拠出額等も報告されています。
(1冊まで送料を含め無料)



先生向けガイドブックなど

総合的な学習の時間とユニセフ



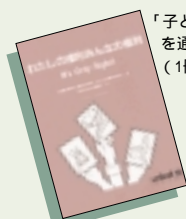
2002年度（高校は2003年度）から本格的に導入された「総合的な学習の時間」。現場の先生方との研究会をもとに、「総合的な学習の時間」におけるユニセフ活用方法をまとめました。ユニセフを活用して設定可能な学習テーマや、各事業の流れ、実践事例を紹介しています。
(学校は6冊まで無料。1冊50円)

ユニセフの開発のための教育

参加型・体験型の活動を通して「地球市民」としての考え方や態度を養うための指導者向けガイドブックです。年齢別のさまざまなアクティビティを紹介しています。
(1冊100円)



わたしの権利みんなの権利



「子どもの権利条約」を、参加型のアクティビティを通して学ぶための指導者向けガイドブック。
(1冊100円)

T・NET通信

年3回、先生を対象に発行されるニュースレター。総合的な学習の時間や国際理解教育にも利用できるユニセフ情報が満載です。
(2年間6回分の送料480円が必要です)



基本リーフレット



555×418mm、両面刷り（無料）

ユニセフの組織、活動、歴史、募金の流れなどをイラストや写真入りでわかりやすくまとめたリーフレットです。ユニセフの活動の基盤にある「子どもの権利条約」とユニセフのすすめる子どもの成長過程にあわせた支援「ライフサイクルアプローチ」が学べる資料になっています。

ユニセフと世界のともだち

小学校中学年から
B5判 / カラー / 40ページ

学校は6冊まで無料（1冊60円）

ユニセフの歴史や現在の活動について、写真やイラスト入りでわかりやすく説明しています。世界の子どものくらしや貧困・人口増加・地球環境の問題などについても学習を深めることができます。



ユニセフ手帳

小学校低学年から

A3判両面刷り 無料

ユニセフの活動が1枚でわかるちらしです。切り込みを入れて折りたたむと8ページのポケットサイズになります。



ちらし類

街頭募金や文化祭などでの配布に最適です。
(無料)

小ちらし



毎年子ども用ちらしとして作成しているB6判のちらし。

基礎ちらし



A5判基礎ちらし「学校に通う夢」。

テーマポスターセット

52cm×73cm / 四つ折り / 10枚1セット

学校は各種1セットまで無料 封筒入り

ユニセフの活動や世界の子どものくらしについて以下のようなテーマでポスターセットを用意しています。イベントなどの掲示に最適です。

1998年制作『ユニセフってなに？』

2001年制作『地球市民になろう』

2002年制作『ひとりひとりが大きな力』



子どもの権利条約カードブック

小学校高学年から

B5判 / カラー

学校は6冊まで無料（1冊60円）

ユニセフがその活動の基盤においている「子どもの権利条約」。条約の第1条から第40条までをやさしく要約し、イラスト付きのカードにしました。1枚ずつ切り離してさまざまな使い方を工夫できます。



地球のともだち ユニセフワークブック

A4判 1冊150円

水と衛生・教育・平和・環境など、世界の子どもの直面する諸問題やユニセフ活動の意味などについて、さまざまなワークや調べ学習を通して楽しく学習できる、イラスト入りワークブック。世界地図シート2枚付き。



北海道支部：〒063-8501
札幌市西区発寒11条5丁目10-1 コープさっぽろ本部2F
011-671-5717

青森県支部：〒038-0012
青森市柳川2-4-22 県生活協同組合連合会2F
017-766-1521

岩手県支部：〒020-0180
岩手郡滝沢村土沢220-3 いわて生協本部2F
019-687-4460

宮城県支部：〒981-0933
仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5F
022-276-5143

水戸の会：〒311-4141
水戸市赤塚1-1 ミオス2F 水戸市社会福祉協議会
ボランティアセンター
029-254-4361

埼玉県支部：〒336-0018
さいたま市南本町2-10-10 コーププラザ浦和1F
048-825-3932

ユニセフ募金千葉事務局：〒264-0022
千葉市若葉区桜木町526-1 ちばコープ1F
043-233-6335

平塚友の会：〒254-0014
平塚市四之宮2-24-17 石井方
0463-54-2562

西濃友の会：〒503-2300
岐阜県安八郡神戸町692-1 谷村方
0584-27-2512

石川友の会：〒921-8162
金沢市三馬2-39
0762-43-0030

三重友の会：〒510-0242
鈴鹿市白子本町19-29 杉谷方
0593-86-6881

奈良県支部：〒630-8214
奈良市東向北町21-1 松山ビル3F
0742-25-3005

ユニセフ募金京都事務局：〒604-0862
京都市中京区烏丸通奥川上ル 京都商工会議所6F
075-211-3911

大阪支部：〒530-0003
大阪市北区堂島2-2-15 3F
06-6344-5878

兵庫県支部：〒658-0081
神戸市東灘区田中町5-3-18 コープこうべ生活文化センター4F
078-435-1605

ユニセフ募金香川事務局：〒760-8504
高松市新北町14-27 コープかがわ2F
087-835-6810

岡山県支部：〒700-0822
岡山市表町1-4-64 上之町ビル1F
086-227-1889

下関友の会：〒750-0016
下関市細江町2-2-1 原弘産ビル9F
0832-32-5245

九州本部（福岡県支部）：〒812-0011
福岡市博多区博多駅前1-3-6 西日本銀行本店4F
092-476-2639

北九州支部：〒802-0006
北九州市小倉北区魚町3-5-5 西日本銀行北九州地区本部5F
093-511-0926

久留米友の会：〒830-0013
久留米市柳原町70 久留米教育クラブ1F
0942-34-2345

佐賀友の会：〒840-0200
佐賀県佐賀郡大和町北原2266 牧方
0952-28-2077

熊本県支部：〒860-0807
熊本市下通町1-5-14 メガネの大宝堂下通店5F
096-326-2154

ユニセフに協力するには...

ユニセフ募金は、全国どここの郵便局からでも送金できます。

募金口座：00190-5-31000

口座名義：(財)日本ユニセフ協会

財団法人日本ユニセフ協会は特定公益増進法人としての認定を受けており、募金には寄付金控除が認められています。

クレジットカードでも募金ができます。

フリーダイヤルまたはインターネットで受け付けしています。カード番号、有効期限、ご寄付の金額をお伝えください。

(ご使用いただけるクレジットカード：アメリカンエクスプレス、DC、ダイナース、JCB、UFJ、UC、VISAジャパングループ、NICOS、JALカード、セゾンカード、バンクカード、イオンクレジット)

一部お取り扱いできないカードがあります。なお、カードの種類によりプレゼントポイントの対象にならない場合があります。

便利なマンスリー・プレッジをご利用ください。

毎月、一定額を銀行や郵便局の口座から自動引き落としできるプログラム「マンスリー・プレッジ」をご用意しています。ぜひ、ご利用ください。

グリーティングカード、プロダクツを通じて協力できます。

ユニセフが世界の美術館や画家から提供を受けた美しいデザインをカードにあしらっています。Tシャツ、マグカップ、バッグなどのオリジナル製品も扱っています。

会員を募集しています。

日本ユニセフ協会では、ユニセフの活動への理解と協力を求めて会員を募集しています。機関誌「ユニセフ・ニュース」(年4回発行)のほか、シンポジウムのご案内や各種資料をお送りいたします。

支部、友の会、募金事務局の地域活動に参加してみませんか。

地域でボランティア活動をしたいという方には、協会の支部、友の会、募金事務局での活動に参加する方法があります。

日本ユニセフ協会のホームページアドレス

<http://www.unicef.or.jp>

詳しいお問い合わせは・・・

フリーダイヤル



ハ ハ ト コ ニ
0120-881052

(財)日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)

〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス

歴史的なデータ収集活動

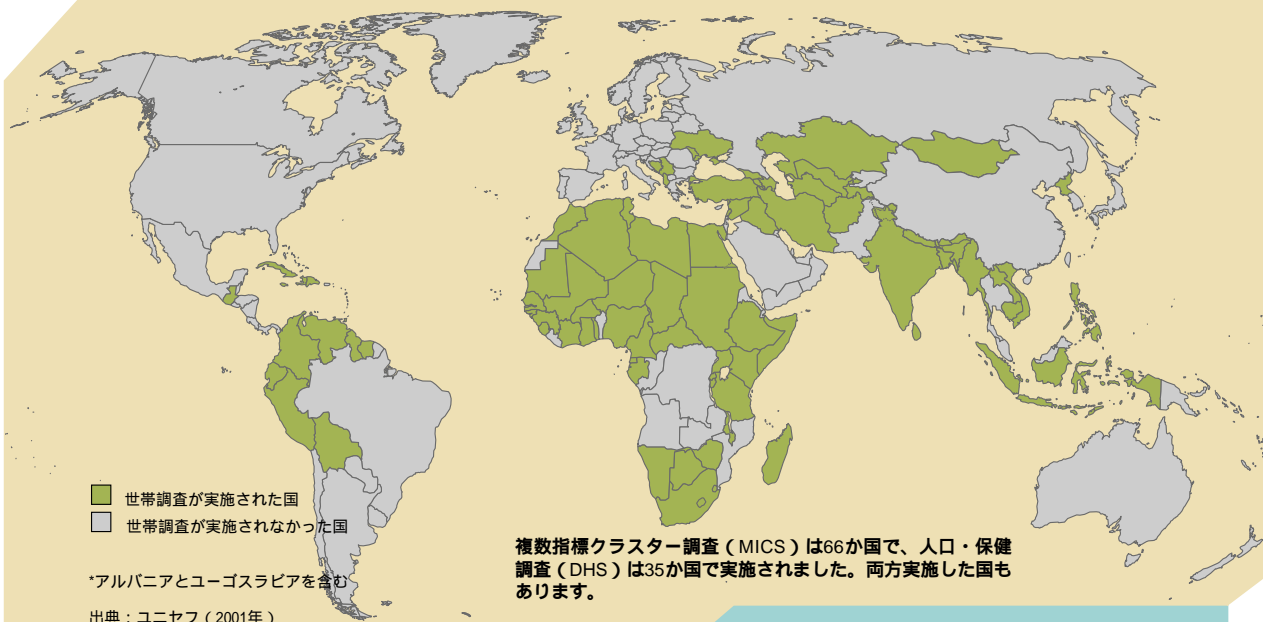
子どものための世界サミットで約束された目標の実施状況を追跡することは、子どもたちの権利と幸せについての状況調査がはじまって以来の、歴史的なデータ収集事業そのものでした。

この試みのカギとなったのが、複数指標クラスター調査(MICS)です。これは、ユニセフがさまざまなパートナーと協力して1997年に開発した柔軟かつ現実的な調査手法で、1990年代末に各種目標の実現状況を評価するために活用されました。調査を通じて、栄養や保健、教育のみならず、出生登録や家庭環境、児童労働、HIV/エイズの知識まで幅広いデータが収集されました。

1990年代末にMICSは66か国で実施されました。実施主体は主として各国政府で、幅広いパートナーからの支援も得ています。人口・保健調査からも、35か国の適切なデータが得られ、地図からもわかるように開発途上地域における子ども関連データの空白を数多く埋めることができました。こうした調査を補ったのが、教育や保健関連をはじめとする既存システムから得られたデータです。

1990年代末世帯調査が実施された国々

開発途上諸国(1998~2000年)



本出版物に掲載されている地図は、国、領土、国境の法的地位に関するユニセフの立場を示すものではありません。

"Progress since the World Summit for Children – a statistical review"

Prepared by UNICEF for the United Nations Special Session on Children
September 2001

unicef 
国際連合児童基金

日本語版発行 2002年5月
(財)日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)
〒108-8607 東京都港区高輪4-6-12 ユニセフハウス
Tel: 03(5789)2011(代) Fax: 03(5789)2036
ホームページ: <http://www.unicef.or.jp>

写真クレジット

	ページ		ページ
©UNICEF / 93-0175 / Lemoine	表1	©UNICEF / 98-0992 / Pirozzi	31
©UNICEF / 99-0884 / Lemoine	2	©UNICEF / 93-0268 / Lemoine	33
©UNICEF / 95-0740 / Balaguer	5	©UNICEF / 97-0658 / Lemoine	35
©UNICEF / 00-0048 / Holmes	8	©UNICEF / 97-0766 / Lemoine	37
©UNICEF / 98-0928 / Pirozzi	11	©UNICEF / 00-0271 / Pirozzi	40
©UNICEF / 92-0103 / Pirozzi	13	©UNICEF / 99-0633 / Pirozzi	42
©UNICEF / 95-0809 / Lemoine	15	©UNICEF / 97-0331 / Noorani	44
©UNICEF / 96-1360 / Pirozzi	18	©UNICEF / 92-0439 / Toutounji	46
©UNICEF / 98-1137 / Pirozzi	20	©UNICEF / 00-0006 / Pirozzi	48
©UNICEF / 92-1655 / Lemoine	22	©UNICEF / 00-0367 / Balaguer	51
©UNICEF / 95-0971 / Noorani	25	©UNICEF / 93-0407 / Lemoine	52
©UNICEF / 99-0132 / Pirozzi	27	©UNICEF / 96-1081 / Toutounji	53
©UNICEF / 98-0920 / Pirozzi	29	©UNICEF / 99-0454 / Pirozzi	54